

分類：基礎医学アドバンスコース  
授業科目名：衛生学・公衆衛生学（Critical Reading） - 文献検索 -  
対象学年：2年次選択  
時間割コード：71584005  
開設学期等：第30週  
単位数：1

1. 主任教員

野村 恭子（教授、衛生学・公衆衛生学講座、6086）

2. 担当教員

野村 恭子（教授、衛生学・公衆衛生学講座、6086）  
前田 恵理（准教授、衛生学・公衆衛生学講座、6088）  
岩田 豊人（医学部講師、衛生学・公衆衛生学講座、7032）  
ロザリンY（助教、衛生学・公衆衛生学講座、6095）  
山崎貞一郎（助教、衛生学・公衆衛生学講座、3260）  
片平 昌幸（准教授、医療情報学講座、6095）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

【ねらい】

臨床現場で必要となる各疾患の病態を習得して診療を実践していくために、臨床現場での意思決定において、入手可能な最善の医学知見を用い、適切な意思決定を行うための方法を身に付ける。また、関連するプロフェッショナリズム、倫理、医療行動科学、医療安全、医療法（制度）EBM等について学ぶ。

【授業の概要】

PubMedを用いて医学情報の収集を行い、必要なリサーチクエスチョンをたてる。（5W1Hの応用、PICO/PECOの抽出、先行研究において未解決となっている課題を見つけ出す力を身につける。）

関連するプロフェッショナリズム、医の倫理、医療安全、医療法（制度）EBMについて説明できる。

4. 教科書・参考書

EBMの実践と教育 David L.Sackett〔ほか〕著

5. 成績評価の方法

態度、レポート、出席、その他（発表、グループワーク）  
全体討議へ積極的に参加し、自分の考えを述べること。  
グループワークやディスカッションを重視する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

1. シラバスをよく読んで参加すること。
2. 研究課題に関して、自ら学び、課題を見つけ、問題を解くなどの自主性が求められる。
3. PubMedを用いて文献検索や整理するため、英語の理解力が必要となる。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	11月28日(月)	1-2時限	全体討議	<p>テーマ：オリエンテーション</p> <p>1) 自己紹介1分ずつ(名前・出身地・コースを選択した理由・公衆衛生学で特に興味を持つ分野・研究したい課題)</p> <p>2) 公衆衛生学のどのようなことを研究課題としたいのか(目標とゴールの設定)</p>	前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎 片平 昌幸	基礎棟第2講義室
2	11月28日(月)	3-4時限	講義	<p>テーマ：医学情報のエビデンスの応用</p> <p>研究は、医学・医療の発展や患者の利益を目的として行われることを説明出来る(5W1Hの応用、PICO/PECOの違い)</p>	前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	基礎棟第2講義室
3	11月28日(月)	5-6時限	演習	<p>テーマ：PubMedの使い方</p> <p>検索エンジン PubMed を用いて医学情報を収集</p>	前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	5B 実習室
4	11月28日(月)	7-8時限	演習	<p>テーマ：文献検索</p> <p>課題の設定</p> <p>検索エンジン PubMed を用いて医学情報を収集</p> <p>収集した情報を整理する</p>	前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	5B 実習室
5	11月28日(月)	9-10時限	全体討議	<p>テーマ：個人発表</p> <p>収集した医学情報の発表</p> <p>1. 検索の手順</p> <p>2. 文献の件数</p> <p>3. 関心のある文献</p> <p>4. その理由</p>	前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	5B 実習室
6	11月29日(火)	1-4時限	演習	<p>テーマ：演習と実例講義(1)</p> <p>1. 文献検索</p> <p>2. 文献に関する PICO/PECO 表を作成する</p> <p>3. リサーチクエスチョンをたてる</p>	前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	5B 実習室
7	11月29日(火)	5-10時限	演習	<p>テーマ：演習と実例講義(2)</p> <p>1. 文献検索</p> <p>2. 文献に関する PICO/PECO 表を作成する</p> <p>3. リサーチクエスチョンをたてる</p>	前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	5B 実習室
8	11月30日(水)	1-4時限	演習	<p>テーマ：演習と実例講義(3)</p> <p>1. 文献検索</p> <p>2. 文献に関する PICO/PECO 表を作成する</p> <p>3. リサーチクエスチョンをたてる</p>	前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	5B 実習室
9	11月30日(水)	5-10時限	演習	<p>テーマ：演習と実例講義(4)</p> <p>1. 文献検索</p> <p>2. 文献に関する PICO/PECO 表を作成する</p> <p>3. リサーチクエスチョンをたてる</p>	野村 恭子 前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	5B 実習室
10	12月1日(木)	1-4時限	グループ学習	<p>テーマ：中間発表</p> <p>文献発表(文献数は人数分とする)</p> <p>1. 研究の目的</p> <p>2. 研究デザイン</p> <p>3. 結果</p> <p>4. 考察(先行研究は研究課題とした疑問を解決できていたかどうか)</p> <p>グループの研究課題について(5W1H)を考え直す</p>	野村 恭子 前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	5B 実習室、チュートリアル室

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
11	12月1日 (木)	5-10時限	演習	テーマ：リサーチクエスションの修正 1．文献を検索し直す 2．文献整理 3．PICO/PECO表を作成する 4．考察 5．今後の研究課題としてのPICO/PECOを作成する	前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	5B 実習室
12	12月2日 (金)	1-6時限	全体討議	テーマ：グループ発表（最終発表） 自己評価 ピア評価 教員評価 実習の内容を決められた様式に従って口頭で発表できる。	野村 恭子 前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	基礎棟第2講義室
13	12月2日 (金)	7-10時限	自主学習	テーマ：レポート提出 実習の内容を決められた様式に従って文書で発表できる。	前田 恵理 岩田 豊人 口ザリンY 山崎貞一郎	基礎棟第2講義室